

こちら、よんひがしです。

近畿中央病院
産婦人科病棟
2012年 5月号
VOL.9

当院では、お母さんの状態に応じて早期から母児同室制を導入しています。同室することにより、赤ちゃんに対する愛情がわく、家族関係が良好に保てる、母乳育児が確立しやすい、育児技術の習得、感染予防、観察ができるといったメリットがあります。

妊娠中からのイメージ作り

妊娠中から母児同室や育児に対するイメージを持つことは、出産後赤ちゃんの世話を始めたときに感じる緊張感や不安感を和らげることができます。母親学級に参加したり、育児をしている人からのお話を聞いたりして、参考にしましょう。

ただ、それぞれのお母さんや赤ちゃんのペースがありますから、参考までにお話を聞くことをお勧めします。

授乳：赤ちゃんが側にいて、母乳をいつでもあげられます

最初の2・3日はまだ母乳もほとんどでないので、目安としては、1日に8回から12回くらいは授乳ということになります。しんどいとは思いますが、それを繰り返すことで母乳もどんどん出るようになります。お乳を吸うことで赤ちゃんは心地良いと感じ、安心感を得ることができます。母乳量には個人差がありますが、お母さんがよく食べて、よく休んで、精神的に安定し、元気であることが大切です。夜中も授乳は必要です。短時間の休息・睡眠をとるようにしましょう。いつでもお母さんが休みたい時は、新生児室で赤ちゃんをお預かりします。

授乳室を設置していますのでご利用して下さい。また、同じ時期に出産されたお母さんとの交流の場ともなっています。

授乳時にはスタッフがサポートさせていただきますので、お気軽にご相談下さい。また、母乳量が確立している方は、自室での授乳も可能です。

赤ちゃんが泣いてどうしたらいいかわからない…

赤ちゃんが泣くの中には、いろんな理由があります。ただ単に抱っこして欲しい・機嫌が悪い・おなかがすいている・おしっこやウンチをして気持ちが悪い・暑い・寒い・眠たい・調子が悪いなどさまざまです。赤ちゃんが

泣き続けているとつらい気持ちになりますが、赤ちゃんからお母さんへのメッセージです。ずっと一緒にいることでだんだんと泣き方の違いがわかるようになっていくと思います。

入院中は一緒にサポートさせていただきますので、お気軽に相談して下さい。



産婦人科 教室のご案内 (要予約)

	日	月	火	水	木	金	土
5月			1	2	3	4	5
	6	7	8	9	10	11	12
	13	14	15	16	17	18	19
	20	21	22	23	24	25	26
	27	28	29	30	31		

	日	月	火	水	木	金	土
6月						1	2
	3	4	5	6	7	8	9
	10	11	12	13	14	15	16
	17	18	19	20	21	22	23
	24	25	26	27	28	29	30

■ たまごの会

5月はありません 6月7日(木)
13:20~ 3階講堂

■ おっぱいと赤ちゃんの会

5月24日(木) 6月28日(木)
13:30~ 7階東病棟

■ お産の会

5月17日(木) 6月21日(木)
13:30~ 7階東病棟

■ マタニティーピクス (当院出産の方限定)

5月 9・16・23日(水)
6月 13・20・27日(水)
13:30~ 運動療法室

■ ベビーマッサージ (当院出産の方限定)

5月10日(木) 6月14日(木)
13:30~ 7階東病棟

編集担当：

田中、重枝
志良堂

